

きらめき

北斗市立大野中学校
研 究 部
第 6 号
2018.10.24

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

～資質・能力の「三つの柱」の育成を目指して～

【めあて】研究授業を振り返り、明日からの授業に活かそう。

10月校内研修内容

□授業を振り返って

- ・指導案作成について
- ・授業を終えて

□11月の公開授業について

□事後研修

- ・付箋にまとめる
- ・各グループで発表

□教育課程編成協議会に参加して

- 板書に学習課題・まとめを活用している。 ●10月の振り返り
- 学習の約束について指導している。
- 家庭学習の方法について具体的に指導している。
- グループやペアでの活動形態を取り入れている。
- 役割や責任を生徒に意識させたペアやグループ活動を行っている。
- ピアサポートやクラス会議など関わり合う場を意図的に作っている。
- ICT機器を効果的に活用している。

<1A理科 明田 T～光の屈折～>

<学習内容の定着>

- 発問が明確。興味をもたせた発問だった。
- 効果的なICTの活用。
- 2時間扱いで行いたい。1時間目に実験やデータのまとめ、2時間目に話し合いを深める定着の時間にすればどうか。
- 時間も限られているので、1つずつ段階に分けて学習してもよい。

<1C習熟度別数学（基礎コース）高田 T

～関数かどうか判断する～>

<声かけ・支援>

- 数学の言葉にこだわって話をしている。大事。
- 常に課題に戻り確かめ、丁寧に進めている。
- 国語力の問題。他教科とのリンクが必要。何を聞かれているのか理解が出来ていない。

<教材・教具の工夫>

- 実物があるおかげで視覚的にイメージしやすい。
- 基礎コースのあの子たちがあんなに集中して…。
- 実生活で箱のイメージが少ない。現物を見てもイメージできていない。

教育課程編成協議会に参加して



中学校教育課程編成の手引を活用して、研修報告をしてもらいました。

指導案検討

他教科の先生方に指導案を見ていただきました。発表は11月5日です。



- ・課題、問題、まとめの整合性はこれでいいか。
- ・課題を解決するための活動になっているか。
- ・授業の評価を何で見とるか。
- ・基礎コースと発展コースのクラス編成は何が基準になっているのか。
- ・何が出来れば課題達成になるのか。

・主体的な学び

興味や関心を高める、見通しをもつ、自分と結びつける、粘り強く取り組む、振り返って次へ繋げる

・対話的な学び

考えを比較する、多様な情報を収集する、多様な手段で説明する、協働して課題解決する

・深い学び

知識、技能を習得し活用し概念化する、自分の考えを形成する、新たなものを創り上げる

◎今後の日程です。

第3期	10月25～11月5日	①金子、鈴木彰 ②野登・鈴木亮 ③山本伸、須賀
第4期	11月29日	情報研 … 中村・三笠、田中・上原
第5期	11月30～12月18日	①佐藤 ②藤田、高橋